



養 氣 軒

youkiken

vol.18
2009 spring

● ようきけんとは「病のみならず精神をも癒すことのできる館」という意味です。

長崎川棚医療センター（西九州脳神経センター） に病院名を変更しました。

4月になり新しい年度がスタートし、みなさま心新たにされていることと思います。また日ごろから当院をご利用いただきまことにありがとうございます。

さて当院は平成16年4月1日の独立行政法人化に伴い「長崎神経医療センター」と病院名を変更するとともに6月に地域医療支援病院の承認を受け、神経・筋疾患とともに呼吸器、循環器、がん、運動器疾患や救急医療など幅広い医療を提供してまいりました。ところが「長崎神経医療センター」という病院名では、神経に特化したような思いを抱き、当院の診療内容を反映していないというご意見を各方面からいただいております。また独法化5年を経過し国立病院機構は中期計画目標として、「地域医療への一層の貢献」を掲げたところであります。

このような情勢を踏まえ実態に合った病院名変更につきまして、内部で議論を重ね、独立行政法人国立病院機構本部をはじめ地域自治体、医師会のみなさまなど関係各位とも十分な調整を行いました結果、平成21年4月1日をもって「独立行政法人国立病院機構長崎川棚医療センター（西九州脳神経センター）」に病院名を変更しました。

今後も、神経・筋、呼吸器、循環器、がん、運動器疾患を中心として、より一層みなさまのご期待に応え、地域医療に貢献する所存でございます。

どうかこれまでも増して、ご支援、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

院長 宮下 光世



病院名変更に伴いロゴマークを
新しくしました。

新しいロゴマークは川棚医療センターの頭文字「K」を患者さんと病院スタッフに見立てた2枚の若葉に象形化しました。患者さんと職員が手を携えながら未来へ伸びていく姿を表します。カラーのブルーは琴の海と呼ばれる大村湾の穏やかな情景を、グリーンは当院の自然あふれる緑の環境をイメージしています。全体として、「病のみならず精神をも癒すことのできる館「養気軒」」を表現しています。

CONTENTS

- 02 地域連携業務
- 03 トピックス
- 04 職場紹介⑦/サークルnews/編集後記



「養気軒」東郷元師直筆（1905年）

予約診療のご案内

医療社会事業専門員 西田 美穂

当院外来では、検査・診療の予約制を導入しています。地域医療支援センターにおいて、紹介患者さんの診療、各種検査の予約受付を行っています。

紹介状をお持ちの患者さんでも予約がない方は、診察までお待たせしてしまう可能性があります。

患者さんの待ち時間短縮のため、ご紹介の際は希望日前日までにご予約頂きますようお願いいたします。

【予約受付時間】

8：30～17：15

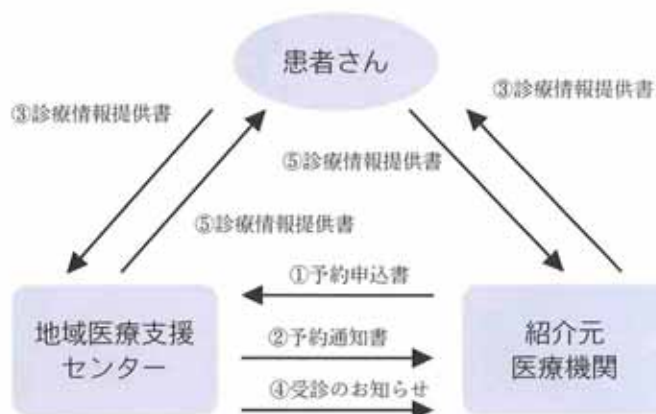
※ 時間外、土日祝日にご連絡いただいた分については、翌日または週明けにご連絡します

【内容】

- ・各科診療予約
- ・各種検査：CT、MRI、RI、マンモグラフィ、消化管透視、超音波、胃内視鏡、大腸内視鏡、脳波、心エコーなど

【予約方法】

予約方法はFAX・電話・ヒューマンネット（インターネット）など、紹介元の先生方の診療環境に合わせて選べるようになっております。



予約のご連絡を頂いてから15分以内に FAX にてお返事いたします（予約通知書）。

検査によっては予約時に患者さんの状態お尋ねすることもあります。お手数ですが、ご協力をお願いします。

予約状況、検査の都合によりご希望の日時にそえない場合があります。日時の変更などご相談することがありますので、どうぞご了承下さい。

地域医療連携専門の事務員2名（久保田・平塚）で受付しております。

患者さんご紹介の際は当センターまでご連絡下さい。

予約専用ダイヤル

FAX：0120-82-2970

TEL：0120-77-6420（平日のみ）

但し、急患等はこの限りではありません。【<<

【平成20年度連携室予約受付状況】

平成20年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
診療予約	70	72	79	94	84	71	97	66	66	85	63	78	925
胃内視鏡	1	3	3	0	3	7	4	4	3	0	6	3	37
大腸内視鏡	3	4	5	11	11	10	7	6	7	5	3	4	76
心エコー	1	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	19
CT	27	17	33	32	25	41	36	27	28	28	32	32	358
MRI	58	58	61	63	52	50	61	45	51	42	39	47	627
その他	6	9	7	10	9	7	8	5	8	2	0	6	77
計	166	168	190	212	186	188	214	155	164	163	146	172	2,124

「患者さま」改め「患者さん」と呼ぶことにします

院長 宮下 光世

2009年4月1日より「患者さま」という呼称を使用しないことにします。

先日ある患者さんから、「『患者様』という呼称は日本語として誤りである。造語でありNHKの言葉の番組でも取り上げられており同様であった。改めて欲しい。」という意見をいただきました。

わたくしも常々そう考えておりましたので、これを機会に病院内で話し合った結果、4月1日より「患者さま」と呼ぶことをやめることに決めました。

1. 「患者さま」という呼称は使用しない。呼ばない。書かない。

2. 「患者の皆さま」と書きます。

3. 姓にさまをつける「〇〇さま」は可。

としたいと思います。

医療は患者と医療者の信頼のもとに協力して行うものです。患者と医療者は病気という問題に取り組むパートナーです。病む人の気持ちになり、「患者さん」とわたしたちと同じ目線で呼ぶようにしましょう。◀▶

桜のお花見会

1病棟 季節の催し物担当 代表 川原 直美

3月25日患者さん・家族と職員の桜のお花見会を行いました。企画者は、桜が一番綺麗な時期で、お天気が良い日になるように願いをこめました。その願いが叶った快晴のこの日は絶好の花見日和でした。患者さんは車椅子に乗車し外へ、また外へ出られない患者さんは窓際へ移動し桜を観覧しました。栄養管理室と看護部で協力しゼリーを準備しました。桜を見ながら、桜茶を飲み、ゼリーを食べながら患者さんと過ごした時間はスタッフの踊りの出し物・患者さん自らの歌の披露もありました。患者さんの笑顔や笑い声に包まれた空間には日頃、病気と闘う辛さも忘れる一時があったように思いました。

入院治療の中では季節を感じる機会は少ないと思いますが、このように患者さん・家族と一緒に季節と触れ合うことも大切であると実感いたしました。1病棟ではこのような季節の催し物を今後とも計画していきたいと思っています。◀▶



平成20年度院内看護研究発表会を終えて

看護研究委員会 副島みどり

今年度の研究発表会は、平成21年2月7日（土）に開催致しました。発表は6題あり、どれも看護に視点のあった内容のもので質疑応答も活発に行われました。

今年度は、聖マリア学院大学看護学部講師の白水麻子先生に、4回にわたって研修していただき、それぞれ個別に具体的なご指導もいただきました。研究の結果のどこに視点をあてるかによって、研究内容がこれほど明確なものになるということを教えていただきました。また、看護師は看護の質の向上のために研究をす

るのだということも情熱をこめてお話下さいました。毎回の研修を通して、看護研究に取り組む姿勢や研究データの集計の仕方など、改めて勉強させていただきました。◀▶



クリティカルパス大会

クリティカルパス推進委員会
地域医療連携係長 安増 幸子

平成21年2月25日（水）に第7回クリティカルパス大会を開催し、57名の参加がありました。

新規パスや自病棟のバリエーション分析、平成20年12月より実施されている、DBSクリティカルパス作成にむけての発表などをおこないました。

フロアーからも活発な質問やDPCの視点からの意見などがでて盛り上がりを見せました。

現在当医院には87のパスがあります。平成20年度のパス使用件数の報告より使われているパスとそうでは

いパスが明確となりました。

今後は既存のパスの見直しを行ない、パスの利用を促進することにより、今以上に患者さんに安心して質の高い医療や看護の提供を行って行きたいと思っています。◀▶



職場紹介 外来

外来看護師：
長下しずえ・大川百合乃

外来は看護部長を含めて看護師10名と病棟より応援看護師1名、外来クラークの計13名で外来患者さんの診療介助、看護ケア、外来化学療法、患者・家族指導、救急患者対応を行っています。

外来では、化学療法、治験を受けられる患者さんや特定疾患の患者さん・ご家族を含め安楽・安全・安心して治療を受けられるように病棟との継続看護を展開しています。

去年7月からは、糖尿病専門外来が始まりました。毎週水曜日午後14時から診療しています。それに伴い、毎週火曜日午後14時からの糖尿病予防教室を新たに開催しています。糖尿病&メタボリック予備軍の方やご家族の方で興味のある方は誰でも参加できます。医師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、検査技師、看護師で連携し、わかりやすくお話を1時間しています。

病気や検査に対する不安が少しでも軽減できるよう

に、患者さんやご家族へのわかりやすい説明や笑顔での声かけを心がけています。また、安全、安楽な看護が提供できるように「心とこころのふれあいを大切に、きめ細やかな気配りと気づきの看護」を目指しています。どうぞよろしくお祈りします。☺



サークルnews

Nagasaki Kawatana Medical Center

かわたな会

ナイスショット！ 大空に向かって飛んでいく（はずの）ボールに大きなかけ声……

我らが「かわたな会」は長崎川棚医療センターのゴルフ大好きなメンバーが集まったコンペの愛称です。

2ヶ月に1度程度芝生の上を駆け（這いずり回り）めぐり、時には登山、時には溪谷巡り……と素晴らしい自然と一体となった活動を繰り広げています。そのお陰かメンバーはみんなメタボとは縁遠い様な気がします。

優勝者には毎回素晴らしい商品が（会費の範囲内

で）送られます。「次も頑張ってね」とドリンク剤が配られたりもして、メンバーのガッツも最高潮です。

時には長崎医療センターのメンバーと対抗戦となることもあり、優勝カップの奪い合いとなります。

ハンデキャップにより、みんな同じラインでプレイできるスポーツです。みんな優しいメンバーばかりです。上手、下手関係なしに一緒にラウンド出来るお友達を募集しています。

（企画課長 大石 清吾）☺

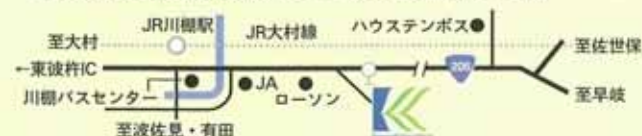


編集後記 編集委員 垣本 光子

うらかな春の日差しを浴びながら、新採用者を含め新たな仲間を迎えて平成21年度がスタートしました。また4月1日より、病院名を「長崎川棚医療センター」として生まれ変わりました。地域周辺の皆さまにはむしろ以前より親しまれている病院名だと思います。

さて少しだけ時計の針を戻していただきますと院内では

- JR大村線川棚駅から徒歩7分、タクシーで2分。急行バス（西肥バス長崎県営バス）は川棚バスセンター停留所で下車、徒歩7分。普通バスは長崎川棚医療センター前バス停留所で下車。



「看護研究発表会」や「クリティカルバス大会」などの行事もありました。その中でも1病棟の「お花見」は満開の桜の中で患者さんとともにお花見をし、とても楽しい時間を過ごしました。皆さまはどこでお花見を楽しまれましたか？

新緑の季節を迎え、お出かけ日和がやってきます。仕事とプライベートの時間をうまく切り換えて遊ぶときは、おもいっきり遊びましょう。そして仕事もがんばりましょう！



独立行政法人 国立病院機構
長崎川棚医療センター
(西九州脳神経センター)

〒859-3615 長崎県東彼杵郡川棚町下組郷2005-1
Phone 0956-82-3121(代) Fax 83-3710

予約・フリーダイヤル ☎ 0120-77-6420

<http://www.hosp.go.jp/~nmcn/>